

名前：

今やインターネットが自由に使えるようになり、世界各地での出来事をインターネットを使ってすぐさま知ることができるようになった。ニュースだけでなく他の多種多様な情報もインターネットさえあれば手に入れることができる。しかし、それでも新聞や雑誌は必要ではないかと思う。以下、その理由を述べることにする。第一に、情報を得る手段がインターネットただ一つとなった場合に、何かの不具合が生じて情報の伝達が不可能となってしまった時、新聞や雑誌などの他の手段が存在しないと、私達は何一つ新たに情報を得ることができなくなるからというものである。もし新聞や雑誌があるなら、それらを介して新たに情報を得ることが出来る。しかし、それらが存在しなければ他には口コミなど仕しか情報を得る手段がないのである。第二に、インターネットではある情報の源となったものが特定されにくいからというものである。新聞や雑誌では、記事を書いた人やそ

の記事の内容の情報源となる人などが明確なことが多い。しかし、インターネット上ではある情報を提供したのか誰なのかを特定するのは難しい。よって新聞や雑誌に比べて、誤った情報を流しても、それに対する制裁を受けることが少ない。その為、インターネットで誤った情報を流しやすく、私達は情報の正誤を自分で判断しなくてはならない。個人が持っている知識には限界もあるから自分の全く知らない範囲についての情報やつい先程に起きたばかりのニュースなどの正誤は判別できない。以上二つの理由から、正しい情報を得るためにも新聞や雑誌などの他の手段は必要であると思う。もちろん、インターネットには情報をあぐ手に入れられるという、情報の伝達速度という面から見た時の大きな利点が存在する。しかし、情報伝達がいくら速くても正確でなければ情報伝達の意味はない。よって、これからも雑誌や新聞などの手段は必要であると言えるのではないか。

1800字